



東京
ミックスマックス

作画... ラスタドン
着色... ぼん屋ルカ
物語... 越知つばめ

F○te/Grand Order 逆リョナプロレス

サーヴァントには敵わない。

M格闘ミックスマックスファイトCG集

ある日突然、特異点が現れた。
時間軸は現在―セイレムと同じでカルデア内をすっぽりと覆っているらしい。

「レイシフトは必要ない
代わりに、とある条件を満たせばこの特異点は勝手に修復される」

―そう、ダヴィンチちゃんは言った。

その条件を満たすためオレはシミュレーターで作られた仮想空間の中にいる。
どこかのリゾート地と思しい海辺の砂浜に眩しい日差しが降り注いでいた。
少し離れたところに闘うためのリングが作られている。

条件というのはカルデア内の女性サーヴァントと身一つで闘うことらしい。
もちろん敵うはずもないが手加減はしてくれろとのことだった。
そもそも、勝ち負けは関係ないようだ。

むしろ、闘った前後の特定の行動の方が重要―らしいが、
なぜかみんな教えてくれない。

今着ている露出度の高いリングコスチュームと何か関係があるらしい。

サーヴァントたちの服装も普段より薄着になっていて、少し気恥すかしかった。
彼女らは条件を知っているらしく、
オレをみてニヤニヤするものだから、余計に緊張してしまう。

やがて、一人のサーヴァント―清姫が近づいてきた。



ますたあ
これからあなたには
サーヴァントの方々と
闘っていただきます

何をしているのです？

ポーツとわたくしの胸を見ていないで
早くリングに上がってくださいませ？

きゃっっ

ぽんぽん
ぽんぽん

ぽんぽん

ぽんぽん
ぽんぽん

全く状況を把握できていない立香の髪を乱雑に掴んだ清姫は
小馬鹿にするように覗き込み恐怖心を与えるべく語りかける



マスター？

最近風紀が乱れ過ぎていいると思いませんか？

貴方が簡単に果てるのが原因だと思っのです

荒療治にはなりません

少し派手に恥をかいてはいかげしょう？

影の風紀委員長は、仮想空間の中でも自分の職務を全うする



ほら、早く逝くのだわマスター
……って……

おやおお！！

エッチなことなんて
何もしてないのに……
下劣……

オオオオ

おははは

逃れる術もなくロープ越しのチョークスリーパーが極まる
立香の肩越しに股間の我慢汁に気づいたエレシュキガル
顔を赤らめながらも心の底から失望する



ふるふる……
どうだマスター？
余の極上の肢体の感触は？

よいよい
言わずとも見れば分かる
心ゆくまで出すとよい

ドクドク

朧固めががっちり極まった、その上での手コキ
苦痛と快樂を同時に味わいながら、立香はされるがままになっていた



先輩……

こういうのが好きだったんですね……

かきかき

はぁはぁ
はぁはぁ

きゅん

んんん

あの……私ならこの特徴点を
修正したあともお相手できるかと……

立香にとって、マッシュは大事な相棒。身近過ぎるからこそ意外なものを見るような声は羞恥を掻き立てる



何だコイツ
気持ち良くなってるのか
マジ気色悪い

後向きでよかったな？
顔が見えてたら即座にフチ殺してたぜ？
今でもそうしてやりてえけどよ

か
か
か

ま
ま
ま

は
は
は

ア
ア
ア

カイニスは立香の背後から吐き捨てるように罵声を投げかける



どうですかツマスタァー!
オチる前にギフアツフして
くださいつー!
じゃないと、私ツ……!

ああッ……
私またやっちやった……

か
か

き
き

立香の意識は、既がない。ペニスから出る白い液体を見て
フラダマンテはようやく失神していることに気づく

すごいわマスター！
首絞められながらも勃起できるなんて……
意外と変態なトコあったのね！

キレムわ♡

あたしこれ見ると
凄くイジメたくなるのよ
満足させてちょうだい？

ふんふん

エレナが太股を絞める毎に立香は肉棒を固くした



ひゅーッ

いい射精っぷりだねえマスターー！
健康な男の子な証拠だよ、うんうん

ぐはあ！！

イケるぅ

んん

んん

まだイケるよね？

せっかくこんな恥ずかしい格好なんだし

限界までイってみようよ？

強烈なドラゴンスリーパーに囚われ豊満な胸を押し付けられる
苦痛と快樂の中、立香はこの技から抜け出す何かを考えることも出来ない



やだ…私ったら、こんな技で興奮するなんて…

お互いに興奮してるようだしこのくらいはいいわよね…
みんなには黙っていてちようだい？



普段は拳撃を得意としている聖女
戦力強化のため、此度は足技の練習を行っていた



簡単に落ちないでねマスター？
私の華麗な技の数々
まだまだ味わってもらおうんだから……

はぁ……
はぁ……

はぁ……
はぁ……

キキョ

ひびき……

……って……
その股間どうにかならないの!?
せっかくの美技が台無しじゃない!!

持ち前の加虐性を満足させ、氷上の白鳥は妖艶に微笑む



なッ…んで射精してんの!?
私、技かけてるだけじゃない!

バカにしてんの!?
それならこう…ッ!!



性感が敏感な状態で全裸に剥かれ、女のお尻が押し付けられる立香はそんな快樂に耐える術はもっていなかった



なんだ、もう射精したのか

……情けない

そんなに私の脚がよかったのか？

……何？

……離せだと……？

馬鹿を言うな
こやつは鍛えねばならん
もうしばらくはこのままだ

キキキ

クククク

クククク

完全に極まったスカサハの太ももは、
ただの人間である立香には外す術はない





ダメね、不合格

いくらマスターでも

私にふさわしい勇士とは言えないわ

…まあ使えないなりに遊んであげましょう

ライダーたる女王にとって、男を乗りこなすのは造作もないことだった



あはははッ！
いい格好ですわねマスター？

この技受けて恥ずかしい思いをするのは
女の子だけではないと理解しました？
私全然物足りませんの
まだまだ行きますわよ？

グ
グ
グ

パンツを剥ぎ取られ恥ずかしい格好を大衆の面前に晒される。



いくら元ダンサーとはいっても
今の私はサーヴァントよ？
敵うわけがないと思うけど……

まあいいわ
このままの情けない態勢でいなさい
背骨へし折ってあげるから……

オキキ

もはや抵抗する術をなくした立香を容赦なく担ぎ上げ
マタ・ハリは激しく背骨を揺さぶる



マスターにしては頑張ったほうね
でもそろそろ終わらせましょう？

さあ…

盛大に白い精液を
撒き散らしてくださいサーイツ!!

手加減されたとはいえさんざんな形で甚振られてしまった立香
もはや対戦相手の顔を見ることすらもできなかった





































